事例No.	3676
公表年度	R7
団体の属性	都道府県
団体名	佐賀県

事例区分	行政改革

タグ	・人材確保・育成 ・組織改革

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

民間経験者の多様な発想を活かす人事戦略

出典

地方自治研究機構　先進事例調査研究（令和7年度）

民間経験者の多様な発想を活かす人事戦略

取組のあらまし

取組団体　佐賀県

取組内容　民間企業等での職務経験がある職員の割合が、全国の都道府県で１位となっている。「公務員という職種はない。」というコンセプトのもと、佐賀県をよりよくすることを目指すプロフェッショナルな人材が、他の職員にも刺激を与えている。

１　佐賀県の概要

人　　口	794,252 人	令和７年１月１日現在（住民基本台帳人口）
職 員 数	3,184 人	令和６年４月１日現在（一般行政部門：教育部門等の事例は各々の人数）
総 面 積	2,440.64 ㎢	令和７年 10 月１日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 １　佐賀県　位置図

出所：佐賀県　ホームページ

2　佐賀県が求める人材

（1） 時代とともに変化する県庁のあるべき姿

昭和時代には、国が示す方向性に沿って画一的に行政運営が行われ、県庁職員に求められたスキルは、国が定める法令や通知に基づいてミスなく正確に事務を処理することであった。

しかし、時代は大きく変わり、人々の価値観が変わるとともに、地方分権改革の進展により、それぞれの地方が自由に行政運営を行う時代になった。

（2） 中途採用は全国１位

イノベーションを生み出すためには、様々なバックグラウンドを持つ人材が集まって生まれたアイデアが掛け合わされ、組織内に刺激や議論が巻き起こされることが重要である。

佐賀県庁では、平成 17 年から、新卒者だけでなく、民間企業等での職務経験を県政に活かしてくれるような多様なキャリアを持つ職員を積極的に採用している。UJI ターン枠（民間企業等職務経験者）・社会人経験枠の試験により入庁した職員（以下「民間企業等経験者」）は行政職員全体の約 18％を占めている。

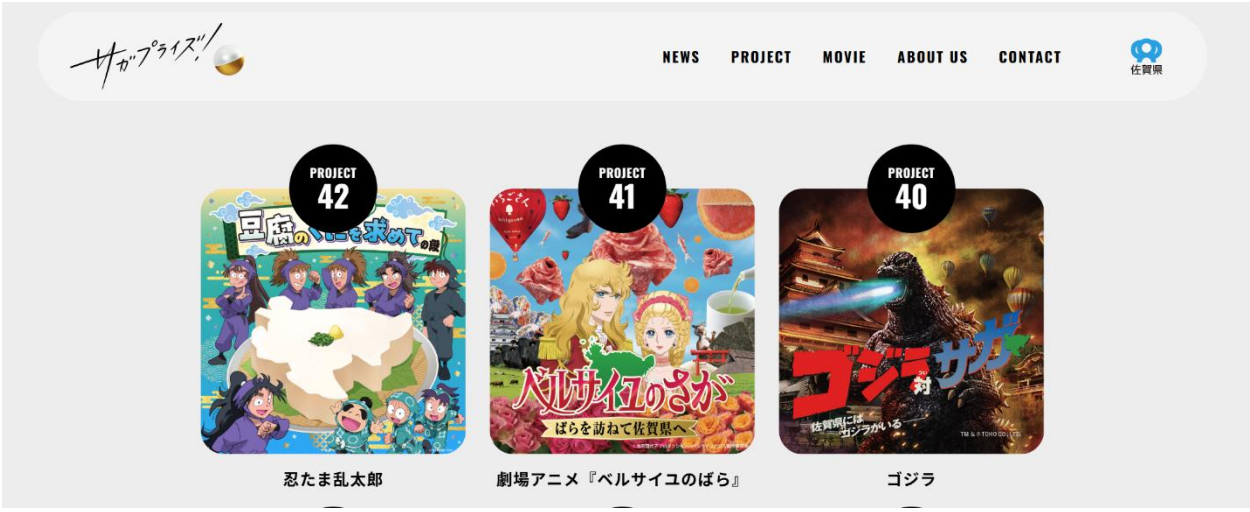
民間企業等経験者の経験や強みを活かした発想と、新卒で入庁した職員が築いてきた強固な礎が掛け合わさることで、佐賀県庁は、様々な分野で新たな「モノ」・「コト」が産まれる組織に変わってきている。

（3） 多様性が生み出す力

民間企業等経験者は、県庁内の様々な部署で活躍している。

自治体の枠を飛び越えた情報発信プロジェクト「サガプライズ！[i]」は、アニメやゲームとのコラボで佐賀の地域資源の素晴らしさを伝えている。

図表 ２　サガプライズ！　映像作品一覧



図表 ２　サガプライズ！　ホームページ

上記事業の立ち上げの中心となったメンバーは、前職で企画開発やブランディングなどを行っていた民間企業等経験者である。その後、「サガプライズ！」では様々なコンテンツや企業とのコラボレーションを生み出している。

ほかにも、SNS 関連会社や音楽コンテンツ会社で営業企画を行っていた職員は、前職で培った人脈などを活かし、県産品の新たな販路を開拓している。埋もれていた地域資源にスポットライトを当て、全国の消費者に届けることに成功した。

いずれの職員も「佐賀県を良くしたい」という思いの下、自分の経験を活かしてどんなことができるかを考え、実践している。

民間企業等経験者の挑戦する姿勢は、県庁で働く他の職員にも刺激を与え、佐賀県という組織自体が積極的にアイデアを出す組織になってきている。

知事にも職員のアイデアを積極的に取り入れようという想いがあるため、民間企業等経験者はもちろん、若手職員の意見にも積極的に耳を傾けており、これらが好循環となり、組織全体の活力アップにつながっている。

３　「公務員という職種はない。」

(1) 佐賀県を良くしたいという「志」が佐賀県を創る

佐賀県の職員採用コンセプトは、「公務員という職種はない。」である。

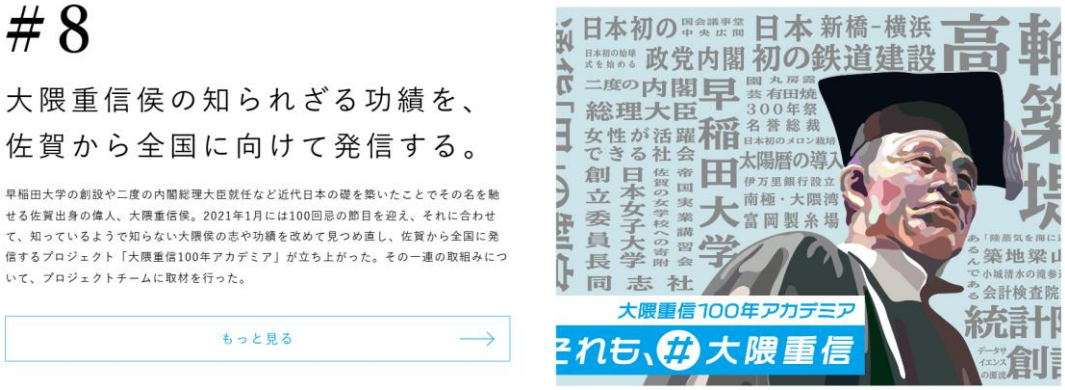
佐賀県の採用職種一覧に「公務員」という文字はひとつもない。そこに並ぶのは、より良い佐賀県をそれぞれの方法で目指そうとするプロフェッショナルたちの肩書である。

公務員に抱かれがちな、前例踏襲といったイメージを打破し、より良い佐賀県を創り出す志を持ったプロフェッショナル集団として佐賀県庁で働くことが、魅力的な職業の一つとなっていくことを目指している。

(2) 採用サイトではプロジェクトストーリーを紹介

採用コンセプト「公務員という職種はない。」を打ち出した職員採用サイトでは、佐賀県職員のプロ意識、事業の魅力を伝えるために、取組のプロジェクトストーリーを紹介している。

図表 ３　プロジェクトストーリー



出所：佐賀県職員採用サイト

4　今後の展開

それぞれの自治体が地域の実情に応じて、知恵を絞ることにより、地域独自の様々な取組が生まれた。

社会情勢が変化し、人々の価値観が多様化する中で、県庁で働く職員も柔軟性を持って対応していくことが肝要である。

変化していく時代において大切なのは、「佐賀県を良くしたい」と思う職員である。

変化する時代を感じ取りながら、県民に寄り添い、県民の幸せを追求し、自分にできることを考え行動していくことができる存在を、佐賀県は求め続ける。

関連・参考資料

佐賀県ホームページ
https://www.pref.saga.lg.jp/

佐賀県職員採用サイト
https://saga-saiyou.net/

[i] 『「サガプライズ！」は、企業・ブランドとコラボレーションして佐賀の地域資産を磨き上げ、全国に佐賀県の魅力を発信するとともに、その活動から得られた知見や手法を地域にフィードバックすることで、“情報発信による佐賀県の地方創生”を目指すプロジェクトである。』…サガプライズ公式 HP から引用。